

事業番号	事務事業名	自立農家組織育成対策補助金	所管課名	産業観光課	令和 3 年度課長名	小椋 正己
02920	政策名	2 地域経済を支える里づくり	係名	農政係	担当者・シート作成者	池田 亜加理
	施策名	21 農業の振興	根拠法令等	鏡野町補助金等交付規則		

1. 事務事業の概要

①事業期間	②今年度の事業内容(具体的な内容、事務概要等を簡潔に記載する)	③開始したきっかけ(いつ頃、どんな経緯で)
<input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返し <input type="checkbox"/> 期間限定複数年度 (年度~ 年度) <input type="checkbox"/> 単年度のみ	・鏡野町自立農家主婦の会の活動に対する補助金を交付する事業。この会は、農業に意欲的な農家女性で構成されている。 ・業務手順は、①交付申請書の受理、②交付決定通知、③実績報告書の受理、④額の確定通知、⑤請求書の受理、⑥補助金の支払である。	・昭和52年7月15日、農家の生活改善、技術の向上と親睦を図るために設立した。事務局は、晴れの国岡山農業協同組合西部アグリセンターに置く。

2. 事務事業の対象・意図・活動・成果指標

①対象(誰、何を対象にしているのか)	④対象指標	単位	区分	1 年度	2 年度	3 年度	4 年度	5 年度
ア 鏡野町自立農家主婦の会	ア 会員数	人	見込 実績	12 11	12 11	12 11	11	11
イ	イ		見込 実績					
ウ	ウ		見込 実績					

②意図(対象をどのような状態にしたいのか)	⑤成果指標(意図の達成度)	単位	区分	1 年度	2 年度	3 年度	4 年度	5 年度
ア 会員相互の意識の高揚と技術の向上・習得	ア 交流会開催	回	目標 実績 達成率	2 2 100.0%	2 2 100.0%	2 2 100.0%	2	2 100.0%
イ	イ 講習会開催	回	目標 実績 達成率	2 2 100.0%	2 2 100.0%	2 0 0.0%	2	2 0.0%
ウ	ウ イベントへの参加	回	目標 実績 達成率	1 1 100.0%	1 0 0.0%	1 0 0.0%	1	1 0.0%

③主な活動内容	⑥活動指標	単位	区分	1 年度	2 年度	3 年度	4 年度	5 年度
ア 担い手の確保	ア 認定農業者数	人	目標 実績 達成率	83 83 100.0%	85 79 92.9%	85 81 95.3%	81	81 100.0%
イ 農地の保全、産地間競争力の確保	イ 集落営農組織、農業生産法人等の数	組織	目標 実績 達成率	35 33 94.3%	35 28 80.0%	35 28 80.0%	28	28 100.0%
ウ	ウ		目標 実績 達成率					

3. 事務事業の予算・コスト概要

予算科目	会計 01		06		01		03		03		01		事業番号		
	一般会計		農林水産業費		農業費		農業振興費		大事業		中事業				
									24		01		02920		
									自立農家組織育成対策補助金						
予算(千円)	1 年度 実績	2 年度 実績	3 年度 実績	4 年度 見込	5 年度 見込	前年比	決算 (千円)	1 年度 実績	2 年度 実績	3 年度 実績	4 年度 見込	5 年度 見込	前年比		
国庫支出金							国庫支出金								
県支出金							県支出金								
町債							町債								
その他特財							その他特財								
一般財源	60	60	60	60	60		一般財源	60	60	60	60	60			
合計	60	60	60	60	60		合計(A)	60	60	60	60	60	0		
財源名称							従事正職員人数	1	1	1	1	1			
							延べ業務事務時間	20	20	20	20	20			
							人件費計(千円)(B)	70	67	67	68	68	0		
	最終予算額		60 千円		予算執行率		100.0%		トータルコスト(A+B)	130	127	127	128	128	0
主な支出事業内容(予算)	補助金					60 千円		主な支出事業内容(決算)	補助金					60 千円	

事業番号	02920	事務事業名	自立農家組織育成対策補助金	所管課名	産業観光課
------	-------	-------	---------------	------	-------

4. 事務事業の環境変化・住民意見等

① 事務事業を取り巻く状況(対象者や根拠法令等)はどう変化しているか? 開始時期あるいは5年前と比べてどう変わったのか? 農村生活の改善を主体に活動してきたが、近年の農村を取り巻く環境変化に伴い、都市部の生活レベルと大差がないものとなっているが、高齢化に伴い新規加入が望まれる。
② この事務事業に関するこれまでの改革・改善の取り組み経緯 補助金額の適正化を図った。他の機関の主催する研修等への参加の呼びかけを行っている。
③ この事務事業に対して、関係者(住民、議会、事業対象者、利害関係者等)からどんな意見や要望が、どの程度寄せられているか? 今後も活動を維持して行くために事業の継続を希望するとの要望がある。

5. 事業評価

目的 妥当性 評価	① 政策体系との整合性(この事務事業の目的は町の政策体系に結びついているか? 意図することが結果に結びついているか?)	
	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 結びついている	理由説明 「会員相互の意識の高揚と生活改善技術の向上・習得」は、農業専従者である「担い手の確保」に結びついている。
	② 町が関与する妥当性(この事業は町が行わなければならないものか? 税金を投入して行うべき事業か? 住民や地域民間等に任せることはできないか?)	
有効性 評価	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 妥当である	理由説明 農業振興を推進する上で、農家女性が生活面で担う役割は大きいものがあるため、妥当である。
	③ 対象・意図の妥当性(事務事業の現状や成果から考えて、対象と意図を見直す余地はないか?)	
	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 適切である	理由説明 農業振興を推進する上で、農家女性が生活面で担う役割は大きいものがあるため、適切である。
効率性 評価	④ 成果の向上余地(成果向上の余地はないか? 成果を向上させる有効な手段はないか? 何が原因で成果が向上しないのか?)	
	<input type="checkbox"/> 向上余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 目標水準に達している	理由説明 会員の高齢化、廃業等により、会員数の大幅な増加が見込めないことから、成果向上の余地はあまり期待できない。
	⑤ 廃止・休止の成果への影響(事務事業を廃止・休止した場合の影響の有無は? 目的を達成するには、この事務事業以外に方法はないか?)	
公平性 評価	<input type="checkbox"/> 影響がない <input checked="" type="checkbox"/> 影響がある	理由説明 会員の負担が大きくなると、活動が低迷することになり、会の衰退を招くおそれがある。
	⑥ 方法・手段の改善余地(やり方等を改善して成果をより向上させることはできないか?)	
	<input type="checkbox"/> 改善余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 改善余地がない	理由説明 地元の身近な農林産物を使った6次化商品の開発や直売活動により、農家女性の生きがいと雇用の場の創出を目指す。
目的 妥当性 評価	⑦ 事業費の削減余地(成果を下げずに仕様や工法の見直し、住民の協力などで事業費を削減できないか?)	
	<input type="checkbox"/> 削減余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない	理由説明 他の組織との整合性を図り、事業費を節減するため、平成20年度から、会員数に応じて補助金額を決定する方法に変更した。
有効性 評価	⑧ 人件費(延べ業務時間)の削減余地(成果を下げずにやり方の見直しや民間委託などでコスト削減できないか?)	
	<input type="checkbox"/> 削減余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない	理由説明 必要最小限の業務時間であり、削減の余地はない。
公平性 評価	⑨ 受益機会・費用負担の適正化余地(事業内容が「対象」の全体でなく、一部の受益者に偏っていないか? 受益者負担は公平・公正となっているか?)	
	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 公平・公正である	理由説明 会員も賦課金を負担して活動を行っている。

6. 事業評価の総括と今後の方向性

① 上記の評価結果	② 全体総括(振り返り・成果・反省点)・評価結果の根拠																							
A 目的妥当性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直しの余地あり	会員の高齢化、廃業等により、会員数が減少してきている。後継者の確保を図る。																							
B 有効性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直しの余地あり																								
C 効率性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直しの余地あり																								
D 公平性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直しの余地あり																								
③ 今後の事業の方向性(改革改善案)・・・複数選択可		④ 担当課としての事業の方針																						
<input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 目的再設定 <input type="checkbox"/> 改善 <input type="checkbox"/> 休止・廃止 <input type="checkbox"/> 事業完了	今後の改革改善案 研修機会や交流の場をもうけることで、参加者数を増やし、活動参加者間で生産技術の交換や伝承を進め、後継者の育成を図る。	<table border="1"> <tr> <td colspan="2" rowspan="2"></td> <td colspan="3">コスト</td> </tr> <tr> <td>削減</td> <td>維持</td> <td>増加</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">成果</td> <td>向上</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>維持</td> <td></td> <td>○</td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td>低下</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table>			コスト			削減	維持	増加	成果	向上				維持		○			低下			
					コスト																			
		削減	維持	増加																				
成果	向上																							
	維持		○																					
	低下																							
⑤ 改革改善案を実施する上で解決すべき課題 地域の農林産物を利用した商品開発 加工施設の整備 後継者、新規就農者の確保		(廃止・休止・事業完了の場合は記入不要)																						